

「みえ高校生県議会」 今後の対応等に関する答弁の概要

総務地域連携常任委員会

学校名	質問項目等	答弁した委員長	今後の対応等に関する答弁の概要	関係する委員会
暁高校	○「伊勢志摩サミット」後のグローバル化について(再質問) ラグビーワールドカップ、東京オリンピックに三重県はどのようにかかわっていくのか。	中嶋委員長 (サミットを契機とした地域の総合力向上調査)	・今回つくられたネットワークを生かして、事前キャンプというふうな形の取組を一步進めた形で他県に負けないように取り組んでいく、そんなことをこれから委員会としても提案していきたいと思っている。	総務地域連携 サミットを契機とした地域の総合力向上調査
東紀州くろしお学園	○東紀州地域における雇用促進について 特別支援学校の生徒を対象に行っている県庁での職場実習を東紀州地域でできないか。 また東紀州地域で療育手帳を所持している者の県職員採用について聞きたい。	大久保委員長 (総務地域連携)	・県議会としても、就業支援の取組にこれからも力を入れていくよう強く求めていきたいと思う。 ・職員採用の制度上、東紀州の採用枠を設定することは、なかなか難しくできないが、療育手帳を所持している方々のさらなる雇用の促進に向けて、計画的な採用に努めていく必要があるのではないかなと思う。 ・私たちの委員会としても、今日いただいた提案や現状などを踏まえて、皆さんが住み慣れた自分の地域で働く意欲を十分に生かしていくことができるよう、今後の県の雇用促進に係る取組などについてしっかりと議論していきたいと思う。	総務地域連携 教育警察
木本高校	○東紀州の活性化について 熊野に住む若者が将来地元に戻りたくなるためには、働く場所を増やす、子育て支援、文化施設の充実などが考えられる。 東紀州地域の活性化についてどのように考えているか。	大久保委員長 (総務地域連携)	・私たちの委員会でも、今年の重点調査項目で移住の促進や南部地域の活性化というのを掲げているところだが、今後、さっき言っていたように、企業の誘致とかそういうこともしていきたいと思っている。 ・県として、その辺(子育て支援、医療サービス、高等教育機関の充実など)をしっかりと取り組むように、私たちも要望を続けていきたいと考えている。	総務地域連携
名張西高校	○伊賀地区の観光政策について 伊賀地区の観光基盤や道路・鉄道の利便性向上について、現状の取組状況と今後の進め方について伺いたい。	下野委員長 (防災県土整備企業)	・交通アクセスが便利になることで観光客が増える場合もあれば、観光客が増えることで交通需要が生まれ、利便性が高まる場合もあり、交通と観光は相互に影響を及ぼすものである。 住んでいる人にとっても訪れる人にとっても、よりよい交通基盤が整えられるよう、委員会でも今後もしっかりと検討していきたいと思っている。	総務地域連携 戦略企画雇用経済 防災県土整備企業